


## 令和5年度（2023年度）学校版環境ISOへの取組

&lt; 学校名：あさぎり町立須恵小学校 &gt;

## 1 取組の概要報告

## (1) 取組の概要

項目	活動の様子（写真）	取組の実際
宣言		<p>学校環境整備が進む中、電気の使用量が今後増えることが予想されるため、「節電」の項目を「須恵小学校環境ISO宣言項目」の1番目に設定した。</p> <p>〈数値目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量を昨年度比－1％以下にする。</li> <li>・水道使用量を昨年度比－1％以下にする。</li> <li>・コピー機使用料を昨年度比－1％以下にする。</li> <li>・教室からのゴミを月8袋以内にする。</li> </ul>
行動		<p>①「須恵小学校環境ISO宣言項目」の啓発</p> <p>「須恵小学校版環境ISO宣言項目」は、各教室の照明スイッチ近くに掲示したり、職員用はデスクマットに入れたりして意識付けを図っている。</p> <p>②節電・節水・紙節約の取組</p> <p>各教室の照明スイッチ近くの「ISO宣言項目」の掲示の他に、廊下や階段等のスイッチの近くには、節電を呼びかけるステッカーを掲示している。</p> <p>印刷室には、用紙サイズごとの裏紙利用の棚を設け、再利用している。また、燃えるゴミについても紙類とその他のゴミに分別して集め、段ボール、シュレッダー後の紙とともに資源ゴミとしてゴミステーションに出している。</p> <p>③給食残食0を目指した取組</p> <p>「給食委員会」が、食に関する掲示をしたり、残食がなかった次の日の給食時間に「残食0」の放送を行ったりしている。栄養バランスの良い食事への関心をもったり、「残さず食べよう」という意識も高まり、ほぼ毎日「残食0」の日が続いたりしている。また、学期に1回あさぎり町学校給食センターの栄養教諭に、給食やバランスのとれた食事の大切さについて話をしてもらっている。</p> <p>④一人一鉢、花いっぱいの学校の取組</p> <p>社会福祉法人つつじヶ丘学園からいただいた花の苗を鉢やプランターに植えたり、学校で育てた花の苗を学級園に植えて育てたりして、花いっぱいの学校づくりを目指している。育てた花は、地域に寄贈をする取組も行っている。</p>

	   	<p><b>⑤縦割り班活動での美化作業</b></p> <p>月に1回縦割り班活動を行っている。レクリエーション活動やボランティア活動を、学期はじめの縦割り班会議の中で場所や内容を話し合い、美化活動に取り組んでいる。上級生が下級生に掃除の仕方などを教えながら、活動を進めている。</p> <p><b>⑥家庭や地域との取組や情報発信</b></p> <p>本校の特色である和綿栽培やP T A活動としての農地水調査、5年生の「水俣に学ぶ肥後っ子教室」での学習など多くの活動を実施することができた。</p> <p>また、J A 青壮年部等の協力を得て、サツマイモと米の栽培に関わる体験活動や地域団体との和綿の栽培活動も引き続き行うことができた。</p> <p>活動の様子は、学校便りや学級通信及び学校ホームページにて情報発信している。</p> <p><b>⑦環境委員会を中心とした取組</b></p> <p>環境委員会では、毎週1回曜日を決めて、電気・水道チェックと教室の燃えるゴミ回収・計量を行っている。</p> <p>また、学級に紙のリサイクルボックスを設置し、月に1回学級から出された不要な紙の回収を行っている。これらの結果は、掲示や放送で全校に報告し、児童自ら環境 I S O の啓発を行っている。</p> <p>さらに、ペットボトルキャップの回収や校庭の樹木札の付け替え、学級園の整備の呼びかけを行い、緑いっぱいの学校づくりを目指している。</p>
記録		<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気使用量について、11月末で昨年度と比較すると、528kwh減で-2.03%だった。</li> <li>・水道使用量について、11月末で昨年度と比較すると、269m<sup>3</sup>減で、-19.7%であった。</li> <li>・コピー機使用料について、11月末で比較すると、25,340円増で、+1.19%であった。</li> </ul>
見直し		<ul style="list-style-type: none"> <li>・縦割り班活動による美化作業は、児童が場所や方法を話し合いで決め、計画的に実行することができた。今後も児童が主体となって活動できる機会の確保や、安全に活動できるような道具等の点検、充実を図っていく必要がある。</li> <li>・引き続き節電、節水、裏紙利用、残食0を意識できるよう、職員朝会や給食の放送等を通して児童と職員に働きかける。また、環境コーナーを更に充実させ、学校全体で環境に対する意識を高められるようにする。</li> </ul>

## (2) 成果と課題

成 果	課 題
<p>○「須恵小学校版環境 I S O 宣言項目」への取組に関して、学期末に、全児童及び全職員に対してアンケートを行い、その結果を集会時に報告することで、児童及び職員の環境 I S O への意識が高まり、実際の行動へとつながっている。</p> <p>○S V タイムや縦割り班活動による校内一斉ボランティアの取組が定着し、自分たちで考え、実行し、学校をきれいにするという意識が高まった。上級生が下級生に掃除の仕方をアドバイスしたり、作業を手伝ったりする姿が多く見られ、学年を超えたつながりが強くなってきた。</p> <p>○一人一鉢の取組や花や野菜の栽培活動を計画的に行うことで、植物についての知識を増やし、植物を大切にする児童が多くなった。</p> <p>○年間を通して、地域団体と共同した栽培活動を行うことで、植物の世話や収穫を様々な人と関わり合うことができ、児童のコミュニケーション力の向上につながった。</p> <p>○環境委員会による、ゴミの計量とその結果のグラフ化、電気・水道チェック、紙のリサイクル活動、ペットボトルキャップ回収の取組により、委員会の児童の環境への意識が高まったとともに、活動の様子を知った他の児童の環境への意識も高まってきている。</p>	<p>○電気使用量及び水道使用量が昨年度よりも減っていた。夏場のエアコンと扇風機の併用を行ったことや、プール使用期間が昨年度よりも短くなったことが主な要因であると考えられる。今後も、節電・節水のための工夫を行ったり、環境委員会による節電・節水の呼びかけや、I S O チェックの結果の報告を引き続き行ったりすることで、学校全体で節電・節水への意識向上を図っていかなければならない。</p> <p>○紙の使用量（購入金額）が増加していた。児童数が少ないこともあり、資料や授業等で使用する問題用紙等の印刷を、印刷機からコピー機に変えたことが主な要因である。今後は、職員によるミスプリントの減量化、両面印刷の推進、印刷時のトナーセーブ、会議等資料のペーパーレス化への移行の促進に努める。</p> <p>○ごみの減量化について、担任等からの声掛けが必要である。小さくしたり、まとめたりすることで、ゴミの減量化につなげられることについて、学校全体で取り組んでいく必要がある。</p> <p>○環境 I S O への取組についてのアンケートを行った結果をグラフ化して提示することで、実態を把握することができた。今後も結果をもとにした呼びかけを続け、児童及び職員の課題意識を高めていく必要がある。</p> <p>○環境について総合的な学習の時間に学習した 5 年生の学びや環境委員会の取組について、他の児童にも伝えていく機会を設け、学びの共有化を図っていく必要がある。</p>